

災害動物医療

動物を救うことが人命や環境を守る

【監修】 羽山伸一 【定価】 本体価格 12,000円+税

■ A4判 ■ 132頁 ■ 並製本 ■ オールカラー

商品番号 0528

獣医師として、

災害時にどのようにすべきかを考える、

その第一歩となる、1冊です。

国の内外を問わず、犬や猫などの家庭動物を家族と想う飼い主が、動物と避難できなかったために命を落とす例が少なからず報告されている。つまり、動物を救わなければ、人の命や生活を守ることができないのである。だから、私たち動物医療者は、被災者だけではなく、動物を救わなくてはならない。

(本書、巻頭言より一部抜粋)

C O N T E N T S

- ▲ 動物医療支援活動とは何か
- ▲ 災害時における獣医学の役割
- ▲ アメリカにおける災害動物医療
- ▲ 重油流出事故と野生動物の救助活動
- ▲ 新潟県中越大震災における動物救護活動について
- ▲ 東日本大震災における支援活動
- ▲ VMATの発足
- ▲ 地方獣医師の取り組み
- ▲ 熊本地震における支援活動
- ▲ 熊本地震をふまえた今後の被災ペット対策について
- ▲ 災害時のシェルターメディスン
- ▲ 災害動物医療とIT
- ▲ これからの災害動物医療

※ コンテンツは一部変更になる可能性があります